

かいそう普及だより

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kaisou/>

発行
 千葉県海匝農業事務所
 改良普及課
 海匝地域農林業振興協議会

千葉県旭市ニの1997-1
 電話 0479-62-0334
 FAX 0479-62-4482

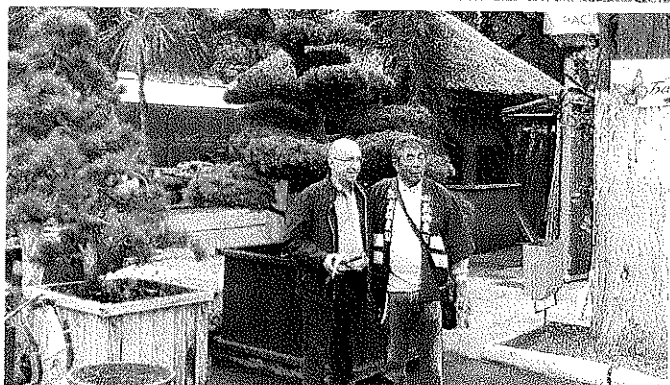
次世代につなげる植木輸出の取り組み
 ～ 欧州諸国への販売促進 ～

千葉県の植木輸出は全国有数であり、匝瑳市をはじめとする海匝地域は県内で最も輸出が盛んな地域です。近年、ヨーロッパや東南アジア諸国への輸出相手国を増やすための販売促進活動が活発です。農業事務所では、関係機関と連携し、国ごとに異なる検疫制度への対応、海外の需要調査及び樹勢診断、輸出用植木の生産振興と広範囲な支援を行い、次世代につなげる植木輸出に向けた取り組みを行っています。



【匝瑳市在住の千葉県植木伝統樹芸士による造形技術のデモンストレーション（ウクライナ オデッサ市）H25年9月】

樹の枝を曲げる技術（曲線美）は欧米にはなく、国営TVの取材を受けながら、現地の造園技術者に指導しました。伝統樹芸士は、卓越した技術と経験を武器に「サムライ」の愛称でEU諸国を中心に活躍しています。



【輸出された造形樹の園芸店での販売事例（左：アカマツ、右：ゴヨウマツ）（ウクライナ オデッサ市）H25年9月】

輸出された植木（造形樹）は、予約注文販売される他、売店の玄関先に置かれ販売されます。

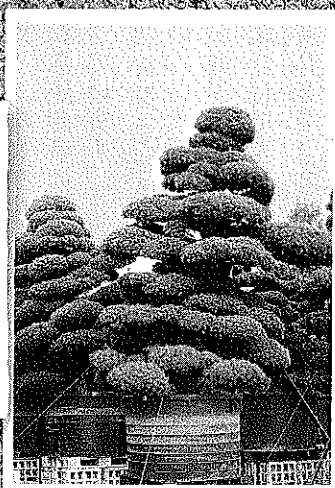


【イタリア（パドヴァ）フロールマート2013で日本から輸出された植木が展示販売されている事例（ツゲ）】

輸出された植木は、現地のバイヤーにより、広くゆったりとした展示ブースに展示され、ヨーロッパ各国へ販売されます。

【EU諸国向け輸出用植木（ゴヨウマツ）の隔離栽培】

一部の樹種は、地面から離れた状態で栽培管理され、検疫を受けることで輸出が可能となります。



旭市の話題

○耕畜連携体制を目指し稲作研修会を開催

8月7日に、飼料用米専用品種の多収生産技術の検討および耕畜連携体制の効果的な進め方を学ぶことを目的に、海匠地域稲作研修会を開催しました。

当日は農業者・関係機関計63名が参加し、管内の試験ほの見学や試験研究機関の発表を通じて、専用品種(夢あおば)の栽培のポイントを学びました。さらに、香取市新里営農組合を視察し、稲WCS栽培の現状と耕畜連携の取組みを研修しました。

参加者は、栽培方法から収益性まで多岐にわたる意見交換を行い、耕種農家と畜産農家がともに飼料用米や稲WCSについて取組む機運が高まりました。



管内試験ほの見学

海匠農業事務所では、今後も飼料用米や稲WCSの取組み(平成25年作付面積 飼料用米 210ha 稲WCS 18ha)を通して、管内の耕種農家と畜産農家との効果的な連携を進めていきます。

銚子市の話題

○若手女性農業者土づくりセミナーを開催

農業経営のパートナーである女性農業者の役割は、農業経営の向上ためには重要です。そこで、若手女性農業者に対し、生産技術(施肥管理技術と土づくり)について情報交換を行い、経営のパートナーとして役割発揮するための能力の向上を図ることを目的に土づくりセミナー(3回コース)を開催しました。

『畑の土を知って安定生産につなげよう』をテーマに、①植物が健全に育つ土ってどんな土? ②我が家の畑の土の健康状態を知ろう ③肥料代を安く抑えて安定した野菜をつくるには? を内容に、講義と演習をとおして土づくりを考えました。

参加した「銚子市アグリレディーズいろいろは」・アグリレディーズセミナー修了生など女性農業者は、「土の特性や我が家の土壌分析について家族と話ができた」「内容を積み重ねて学び、土のことについて深い関心を持った」など感想をもち農業への意欲を高めました。



熱心に講義を聴く参加者



家族と根の様子を観察

匝瑳市の話題

○若手組合員がねぎ栽培を開始

匝瑳市は、海岸砂土地帯の特性を生かし高品質のねぎを生産することで知られ、JAちばみどりそうさ園芸部のねぎは、「ひかりねぎ」の名称でブランド化されています。その一方で、ねぎ生産者の高齢化・担い手不足が課題となっています。

同市の農事組合法人栄営農組合は、県内でも歴史の古い水稲生産者組織です。近年は世代交代が進み、構成員14名中7名が45歳未満の若手組合員です。その若手組合員が主体となり、平成24年よりねぎの栽培を開始しました。今年度は、組合内で正式な部会を立ち上げ、補助事業を活用し機械導入を行ないました。また、農業事務所でも地域内のねぎ生産者への視察研修会を行う等、技術支援を行ってきま



栄営農組合 ねぎ部会のメンバー

現在では生産者6名で、栽培面積は1.7ヘクタールですが、3年後には3ヘクタールまで面積を拡大したいと意気込んでいます。

表彰者の紹介

○平成26年
文化の日千葉県功労者表彰

平野拓歩氏(旭市・農林水産功労)



平野拓歩氏

平野氏は、
ナイスボー
ク・チバ推
進協議会の
設立前後か
ら協議会運

営に取組まれ、平成11年にナイス・ポークチバ推進協議会副会長、平成19年から現在まで同会長として、県産豚肉の消費拡大のための推進活動や若手後継者育成のための技術・情報交換等を精力的に推進してきました。また、平成22年から(一社)日本養豚協会副会長、平成26年から同会会長代行として県内はもとより国内養豚業界の発展に尽力されています。

大木秀子氏(匝瑳市・農林水産功労)



大木秀子氏

大木氏は、
ちばみどり
農協三栄女
性部味噌加
工部代表・
八日市場ふ

るさと交流協会代表等を歴任されました。平成17年「ふれあいパーク八日市場」(年間来場者80

万人)の設立に尽力され、現在も運営の中心となって活躍されています。その後も、千葉県農山漁村いきいきアドバイザー・農林水産省地産地消の仕事人等を務められ、都市と農村・消費者との交流促進に寄与されています。

○平成26年度 全国優良経営表彰
全国担い手育成総合支援協議会
会長賞(法人経営体部門)

平成26年度 千葉県農業経営
基盤強化優良担い手表彰(優良
集落営農部門)

(農)栄営農組合(匝瑳市)



栄営農組合メンバー

(農)栄営
農組合は、
昭和43年に
農作業受託
を行う任意
組合として
発足し、水
稲刈取面積
が100ha
を超える大
規模営農組
合です。

「地域農
業とともに歩む」の経営理念を
もとに、平成10年に乾燥調製施
設の全面改修、平成16年に法人化
平成18年に地域の生活改善グ
ループと連携した加工部門、平
成26年には若手組合員主体の園
芸部の設立など、安定的な複合

経営体を目指しています。今回、
これまでの集落の農地利用や、
女性および若手農業者の活躍の
場の提供、農業体験の実施、各
種地域組織の設立・参加等の営
農活動が評価されました。

営農情報

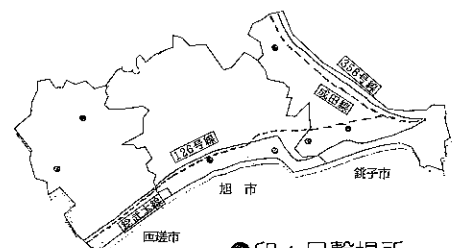
○農地の貸し借りの新しい仕組み
「農地中間管理事業」とは

昨年4月から、「農地中間管理
事業」という新しい農地の貸し
借りの事業が始まりました。そ
の仕組みは、農地を貸したい方
から農地中間管理機構の指定を
受けた公益社団法人千葉県園芸
協会が、借受け希望者の状況等
を考慮してお借りし、園芸協会
から農地を借りたい方にまとま
りのある形で農地を利用できる
ように配慮してお貸しするとい
うものです。この事業を利用す
ると、農地の貸し手と借り手の
マッチングを園芸協会がします。
また、貸し手は条件が合えば協力
金を受けることもできます。

この事業を利用して農地の貸
借を希望する場合には、市の農
政窓口又は園芸協会へ申込書の
提出が必要ですのでお気軽にご
相談ください。
園芸協会農地部
☎043-223-3011

早期対策！野生鳥獣を 発見したら通報を！

海匝地域でもここ数年イノシ
シが目撃されています。(地図の
●印)農作物に被害を出さない
ように、イノシシの棲家となら
ないように次のことに注意しま
しょう。



●印：目撃場所

・餌場を作らない(農作物の放置、
放棄、飼料の山積み保管、生ゴミ
の山林への不法投棄などは餌場
となります)
・耕作放棄
地は解消す
る(寝床、出
産場所、移
動経路とな
ります)
イノシシや
足跡を発見
したら次ま
で連絡をお
願いします。

- 海匝農業事務所企画振興課
☎0479-62-0156
- 銚子市農産課
☎0479-24-8939
- 旭市農水産課
☎0479-68-1173
- 匝瑳市産業振興課
☎0479-73-0089



指導農業士・ 農業士紹介

本年度新たに県知事から

認定された方々です

平成26年11月12日に県庁において、海匠地区より指導農業士5名、農業士10名がめでたく認定されましたのでご紹介いたします。



「指導農業士」

【下段 右から】

飯島伊千良さん(旭市)

施設野菜(キュウリ、トマト、葉物野菜)でキュウリを主軸とする経営で、旭胡瓜部会役員として出荷場再整備に尽力しました。また、新技術導入等にも貢献し地域をリードしています。

石毛庄市さん(旭市)

露地野菜(メロン、キャベツ、パセリ)の経営で、「飯岡貴味メロン」のブランド化では販路拡大等で貢献しています。

鷺山敦美さん(旭市)

施設野菜(キュウリ、トマト)の経営です。産地維持発展のため幅広い視野で、農業後継者育成に貢献しています。

伊藤明美さん(匝瑳市)

水稲と施設野菜(イチゴ)の複合経営の傍ら、「そうさの米研究会」では、地域ブランド米の有利販売に貢献しています。

伊藤文男さん(旭市)

施設野菜経営(キュウリ)で「いぼ無しキュウリ」栽培に取り組み、周年出荷を行うなど市場ニーズに適応した生産販売を通じて地域をリードし貢献しています。



「農業士」

【中段 右から】

高埜和泉さん(旭市)

施設野菜(キュウリ、トマト)の経営で、女性農業者で組織された「ハート倶楽部」では、ハート型キュウリの商品開発や販売に貢献しています。

市田之絵さん(銚子市)

露地野菜(キャベツ)を中心にした経営で、若手女性農業者のネットワーク化と、経営参画をすすめる「銚子市アグリレディースいろは」の活動に貢献しています。

石毛紀之さん(旭市)

露地野菜(ダイコン、キャベツ、トウモロコシ)を主軸に、土づくりと栽培コストを重視した経営で、品種試作にも取り組み、地域に情報提供するなど意欲的に活躍しています。

木内一喜さん(旭市)

施設野菜(イチゴ)と露地野菜の複合経営で、丁寧な栽培管理と圃場の効率的な活用に意欲的で、経営向上に積極的に取り組んでいます。

細谷晃一さん(旭市)

施設野菜(ミニトマト、春菊)と水稲の複合経営で、顧客ニーズを活かした高い生産を目指し地域の若手リーダーとして意欲的です。



【上段 右から】

加瀬智貴さん(銚子市)

露地野菜(キャベツ)を中心にした経営で、機械化と省力化に取り組み農業経営改善に意欲的です

金親 大さん(旭市)

施設野菜(ミニトマト)を中心に露地野菜の複合経営で、JAちばみどり青年部長を務めるなど若手リーダーとして尽力しています。

平野博之さん(旭市)

施設野菜(キュウリ、トマト)で土づくりを重視した経営を行い、規模拡大に取り組み、野菜産地の一員として尽力しています。

平野晃久さん(旭市)

施設で観葉植物(ゴールドクレスト)と鉢花(リーガールベゴニア)を生産し、高い生産技術で農林水産大臣賞等の受賞歴があります。

多田寛和さん(銚子市)

露地野菜(ダイコン、キャベツ)を中心に土づくりを重視した経営で、栽培技術の向上に意欲的です。食育ボランティア等で地元農産物PRにも尽力しています。

